

調査レポート

アジア主要国の景気概況
～ 中国・NIEs・ASEAN・インド ～
< 2004年6月号 >

【目次】

．中華圏・韓国

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1．中国経済の概況……投資に減速の兆候 | … p.1 |
| 2．中国経済の注目点…部品供給基地として対中輸出を伸ばす韓・台 | … p.2 |
| 3．台湾経済の概況……外需・内需ともに好調 | … p.4 |
| 4．韓国経済の概況……企業の先行き見通しが悪化 | … p.5 |

．ASEAN・インド

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1．タイ経済の概況 …… 1-3月期の成長率は6.5% | … p.6 |
| 2．インドネシア経済の概況・1-3月期の成長率は4.5% | … p.7 |
| 3．マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標 | … p.8 |
| 4．インド経済の概況 …… 好調が続くソフトウェア輸出 | … p.9 |

．アジア通貨・株価動向

… p.10



【お問い合わせ先】調査部(東京) 海外経済班

(ASEAN・インド) 堀江 (E-Mail: horie@ufji.co.jp)

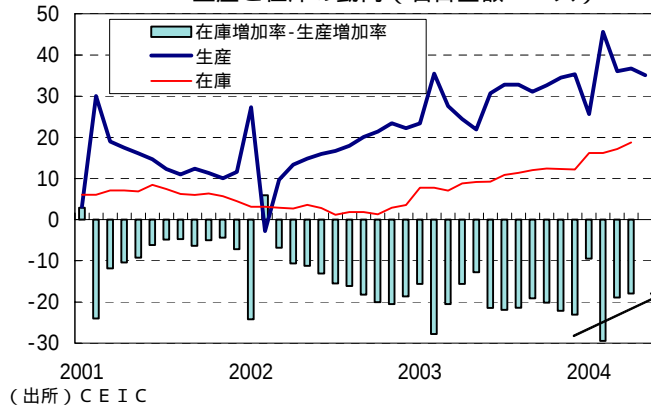
(中華圏・韓国) 鈴木 (E-Mail: tsuzuki@ufji.co.jp)

．中華圏・韓国経済

1．中国経済の概況

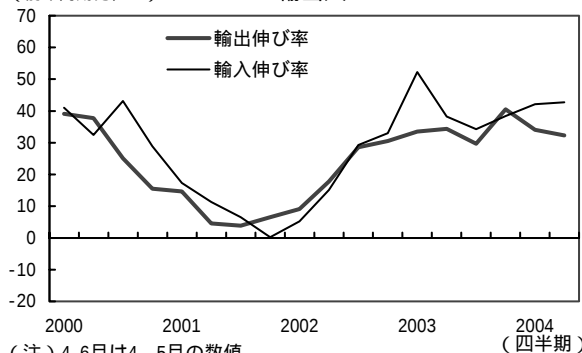
- ・ 投資に減速の兆候が出てきており、過熱抑制策が奏効しつつあるとの見方が強まっている。一方、石炭不足や生産者物価の高騰など過熱感も依然として強い。このため、今後の物価動向如何では、貸出金利の引き上げが行われるとの見方も根強い状況だ。
- ・ 1-5月の都市部の投資は前年同期比34.8%増（単月では前年同月比18.3%増）と、1-4月の同42.8%増（同34.7%増）から8%ポイント鈍化した。直接投資実行額が同11.3%増と増勢を強め、製造業の投資も同50%以上の増加が続く中、不動産投資の増加率が30%を割り込み、春先からの行政指導の効果が現れた格好となった。ただし、昨年5月はSARSの影響でゴールデンウィークが中止されており、工事日数が今年の方が少ないことや、西部での投資増加率はむしろ高まっていることを考えると、このまま投資の鈍化が続くかどうかは予断を許さない。
- ・ 5月の輸出は前年同月比32.6%増とわずかながら前月の伸びを上回った。一方、輸入は投機的な要素もあった鉄鋼の輸入が減少に転じたことなどから、同35.3%増と伸び率を鈍化させた。この結果、5月の貿易収支は5ヵ月ぶりに黒字(21億ドル)に転じた。
- ・ 5月の生産は前年同月比17.5%増と、地場企業を中心に鈍化し、稼働日数が昨年より少なかったこともあるが、在庫の伸びが高まっており、生産調整的な動きも加わったと見られる。

（前年同月比％） 生産と在庫の動向（名目金額ベース）



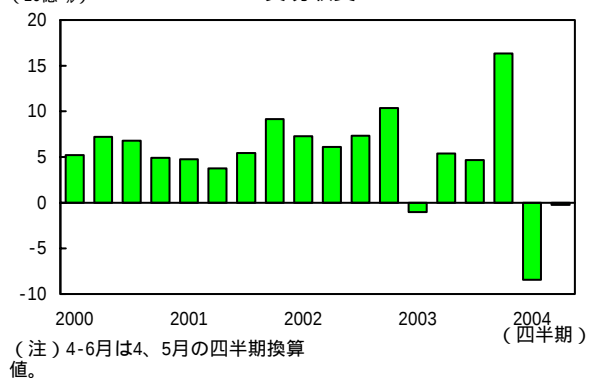
（前年同期比、％）

輸出入



（10億ドル）

貿易収支



【中国・香港の主要経済指標】

			2001年	2002年	2003年	03/2Q	03/3Q	03/4Q	04/1Q	04/2月	3月	4月	5月	
中国	GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年<同期>比%	7.5	8.3	9.1	6.7 8.2	9.6 8.7	9.9 9.1	9.8 9.8				
		名目GDP成長率	前年<同期>比%	8.8	8.1	11.1	9.8	10.5	11.1	13.2				
	消費	社会消費品小売総額	前年<同期>比%	10.1	8.8	9.0	6.8	9.7	10.3	10.7	9.2	11.1	13.2	17.8
		うち市	前年<同期>比%	11.5	10.0	15.0	13.8	17.8	14.0	17.9	15.3	18.6	20.3	23.9
		うち県	前年<同期>比%	8.7	6.5	7.5	5.5	11.9	7.7	13.5	13.3	13.3	15.9	17.4
		うち県以下	前年<同期>比%	7.3	7.0	6.8	6.4	10.4	6.6	9.7	9.0	9.8	10.5	11.7
		自動車販売台数	前年<同期>比%	13.1	37.5	33.5	16.5	28.6	41.7	31.0	64.5	39.1	30.3	
		うち乗用車	前年<同期>比%	17.1	56.4	71.5	64.3	51.3	81.2	49.0	84.1	63.1	40.9	
		消費者自信指数	期末	97.1	97.5	95.3	88.6	93.1	95.3	95.4	95.2	95.4	95.0	
		消費者期待指数	期末	97.4	97.6	94.7	86.8	92.2	94.7	94.1	94.0	94.1	93.6	
	投資	固定資産投資(累計ベース)	前年<同期>比%	13.7	17.4	28.4	32.8	31.4	28.4	47.8	53.0	47.8	42.8	34.8
		うち不動産・居住用建物	前年<同期>比%	25.3	21.9	29.7	34.0	32.8	29.7	33.7	48.7	33.7	30.4	28.3
		うち国内企業	前年<同期>比%							45.6	49.2	45.6	41.3	
		うち製造業	前年<同期>比%							75.8	78.1	75.8	65.1	51.3
		うち鉄鋼	前年<同期>比%							106.4	176.2	106.4	90.1	73.2
		うち輸送機械	前年<同期>比%							80.6	71.9	80.6	68.2	57.6
		うち電気機械	前年<同期>比%							120.9	170.3	120.9	111.1	84.9
		うち情報通信機器	前年<同期>比%							17.0	35.1	17.0	13.9	
		直接投資契約額(累計ベース)	前年<同期>比%	10.4	19.6	39.0	40.3	36.0	39.0	49.2	34.5	49.2	54.0	49.8
		直接投資実行額(累計ベース)	前年<同期>比%	15.0	12.5	1.4	34.3	11.8	1.4	7.5	10.3	7.5	10.1	11.3
		不動産景気指数	期末	105.3	104.2	106.2	107.0	106.7	106.2	106.2	107.8	106.2	105.8	105.9
	貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	億ドル	230.9	303.4	253.8	53.9	46.8	163.3	▲ 84.4	▲ 78.7	▲ 5.4	▲ 22.5	21.0
		輸出(ドルベース)	前年<同期>比%	7.0	22.1	34.6	34.3	29.7	40.5	34.1	39.7	42.9	32.3	32.6
		輸入(ドルベース)	前年<同期>比%	8.2	21.2	39.9	38.2	34.3	38.4	42.1	76.7	42.5	42.7	35.3
		対米貿易収支	億ドル	281.2	427.3	586.3	137.3	174.5	177.2	124.0	29.5	50.3	56.2	60.8
		対日貿易収支	億ドル	22.7	▲ 50.1	▲ 147.5	▲ 36.6	▲ 49.7	▲ 30.8	▲ 54.5	▲ 26.3	▲ 19.6	▲ 22.0	▲ 15.7
	生産	外貨準備	期末億ドル	2,122	2,864	4,033	3,465	3,839	4,033	4,398	4,266	4,398		
		鉱工業付加価値額	前年<同期>比%	9.7	12.7	16.7	15.2	16.6	17.7	16.6	23.2	19.4	19.1	17.5
		うち国営企業	前年<同期>比%	8.4	11.5	14.1	12.0	13.2	14.5	14.2	20.0	15.2	15.8	13.8
うち株式会社		前年<同期>比%	10.4	14.3	18.0	16.5	17.2	19.3	17.2	24.2	18.9	19.0	16.9	
うち外商・港台企業		前年<同期>比%	11.7	13.3	19.6	18.0	19.8	20.7	19.1	26.3	24.5	23.4	22.3	
在庫額		前年<同期>比%	6.5	2.6	10.1	9.1	11.4	12.3	16.5	16.2	17.2	18.8		
うち鉱物		前年<同期>比%	▲ 8.5	▲ 3.5	▲ 2.8	▲ 2.6	▲ 2.0	▲ 0.9	5.9	4.4	8.8	16.1		
うち素材		前年<同期>比%	5.9	3.0	8.6	7.8	8.9	11.1	21.2	20.2	23.2	22.6		
所得 雇用	うち機械	前年<同期>比%	7.4	3.4	17.9	16.4	20.2	19.3	16.7	17.4	15.5	19.8		
	発電量	前年<同期>比%	8.2	13.3	14.2	13.0	14.8	14.1	16.3	24.8	17.1	17.6	16.4	
	都市家庭一人当たり所得	前年<同期>比%		18.2	12.0	10.1	11.3	15.0	12.7	▲ 1.6	12.7	12.2		
	鉱工業雇用者数	前年<同期>比%	▲ 2.2	▲ 0.6	5.2	4.4	5.3	5.8	7.8	7.7	8.0	7.8		
	労働力市場求人倍率	期末	0.75	0.89	0.88	0.89	0.90	0.88	0.89					
物価	製造業/全産業求人比率	期末%	25.1	25.8	31.6	32.3	31.5	31.6	34.7					
	消費者物価指数	前年<同期>比%	0.7	▲ 0.8	1.2	0.7	0.8	2.7	2.8	2.1	3.0	3.8	4.4	
	うち食品	前年<同期>比%	0.0	▲ 0.6	3.4	1.8	2.1	7.3	7.2	5.6	7.9	10.2	11.8	
	うち家庭設備・家庭用品	前年<同期>比%	▲ 2.3	▲ 2.5	▲ 2.6	▲ 2.6	▲ 2.5	▲ 2.3	▲ 1.8	▲ 1.8	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 1.5	
	生産者物価指数	前年<同期>比%	▲ 1.3	▲ 2.3	2.3	2.3	1.4	2.0	3.6	3.5	3.9	5.0	5.7	
金融	マネーサプライ(M2)	前年<同期>比%	14.4	16.8	19.6	20.8	20.7	19.6	19.1	19.4	19.1	19.1	17.5	
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均	2.42	2.12	2.17	2.01	2.25	2.40	2.05	2.09	1.90	2.05	1.99	
	株価指数(上海総合)	期末	1,646	1,358	1,497	1,486	1,367	1,497	1,742	1,675	1,742	1,596	1,556	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	8.277	8.281	8.277	8.277	8.277	8.277	8.277	8.277	8.277	8.277	8.277	
	為替レート(円/元)	期中平均	14.7	15.1	14.0	14.3	14.2	13.1	12.9	12.9	13.1	13.0	13.6	

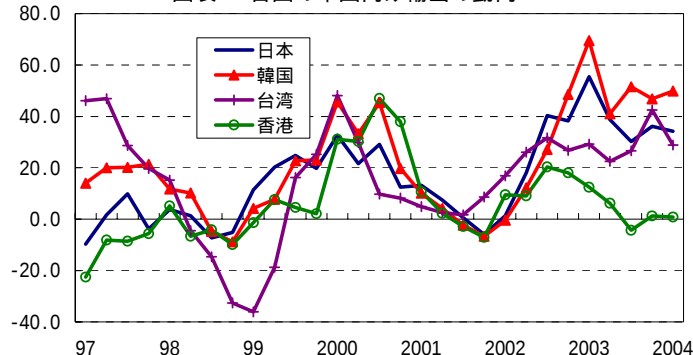
香港	GDP	実質GDP成長率	前年<同期>比%	0.5	1.9	3.2	▲ 0.6	4.0	4.9	6.8				
		うち民間消費	前年<同期>比%	2.0	▲ 1.2	▲ 0.2	▲ 3.6	1.5	3.6	5.0				
		うち固定資本形成	前年<同期>比%	2.6	▲ 4.5	0.1	▲ 5.3	▲ 0.0	1.9	5.8				
	消費	名目GDP成長率	前年<同期>比%	▲ 1.4	▲ 1.8	▲ 2.2	▲ 6.3	▲ 2.3	▲ 0.2	2.2				
		小売販売数量指数	前年<同期>比%	1.2	▲ 2.6	▲ 0.6	▲ 7.7	1.3	5.2	7.3	11.3	9.0	20.0	
		不動産価格指数	前年<同期>比%	▲ 12.2	▲ 11.1	▲ 12.0	▲ 17.1	▲ 14.1	▲ 0.6	16.4	14.4	26.3	27.1	
	貿易	うち家屋160㎡超(香港島)	前年<同期>比%	▲ 12.7	▲ 6.4	▲ 0.2	▲ 9.3	4.9	13.4	34.4	33.7	45.5	24.8	
		不動産販売取引件数(香港域内)	前年<同期>比%	16.4	▲ 5.1	▲ 2.8	▲ 37.4	16.1	51.5	99.0	158.9	151.6	67.4	
		貿易収支	億香港ドル	▲ 887.2	▲ 600.1	▲ 664.6	▲ 139.4	▲ 87.0	▲ 236.6	▲ 340.8	▲ 198.5	▲ 150.7	▲ 160.1	
	物価	輸出(香港ドルベース)	前年<同期>比%	▲ 5.8	5.4	11.6	12.2	7.0	11.3	13.0	28.2	13.9	19.3	
		輸入(香港ドルベース)	前年<同期>比%	▲ 5.4	3.3	11.6	9.8	6.3	13.9	15.8	33.3	15.4	24.5	
	金融	消費者物価指数	前年<同期>比%	▲ 1.6	▲ 3.0	▲ 2.6	▲ 2.5	▲ 3.6	▲ 2.3	▲ 1.8	▲ 1.9	▲ 2.1	▲ 1.5	▲ 0.9
		マネーサプライ(M3)	期末%	▲ 2.7	▲ 0.9	8.3	2.4	5.6	8.3	8.7	11.8	8.7	7.7	
	ハンセン指数	期末%	11,397	9,321	12,576	9,577	11,230	12,576	12,682	13,907	12,682	11,943	12,198	

(出所) CEIC

2. 中国経済の注目点 ～半導体、液晶の供給基地として対中輸出を伸ばす韓・台

- ・ 90年代後半以降、中国が生産基地としてのみならず市場としても大きく成長する中で東アジアの貿易構造も急速に変化している。
- ・ 東アジア4地域（日本、韓国、台湾、香港）の対中輸出を見ると、2002年半ば以降、香港以外は何れも前年比20%～50%増で推移しており、日本、韓国、台湾の3地域が中国への資材の供給基地として大きな恩恵を受けていることがわかる（図表1）。なかでも韓国の躍進は目覚しく、97年に4地域の対中輸出に占めるシェアは15.7%に過ぎなかったが、2004年1-3月期は24.3%にまで拡大した（図表2）。
- ・ 製品別に見ると、原材料・素材のシェアは韓国を除くとほぼ横ばいである。機械のシェアが大幅に高まる一方、軽工業品類が大幅に低下している（図表3）。さらに機械の内訳を見ると、台湾の機械（工作機械等）と電気機械（半導体）、韓国の電気機械と光学機械（液晶）のシェアが急速に高まっており、韓国と台湾が半導体や液晶、工作機械などの対中供給基地として中国への依存を強めたことがうかがえる（図表4）。

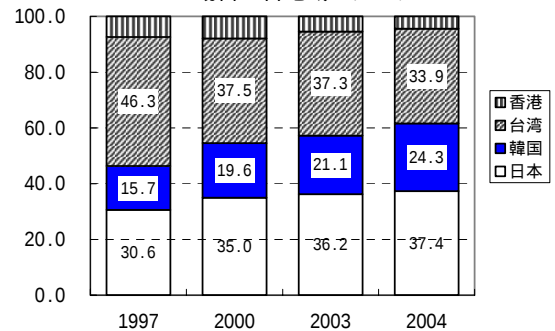
（前年同期比％） 図表1 各国の中国向け輸出の動向



（注）各国の中国向け輸出は、中国側統計の各国からの輸入の数字。
2004年は1-3月の実績値。

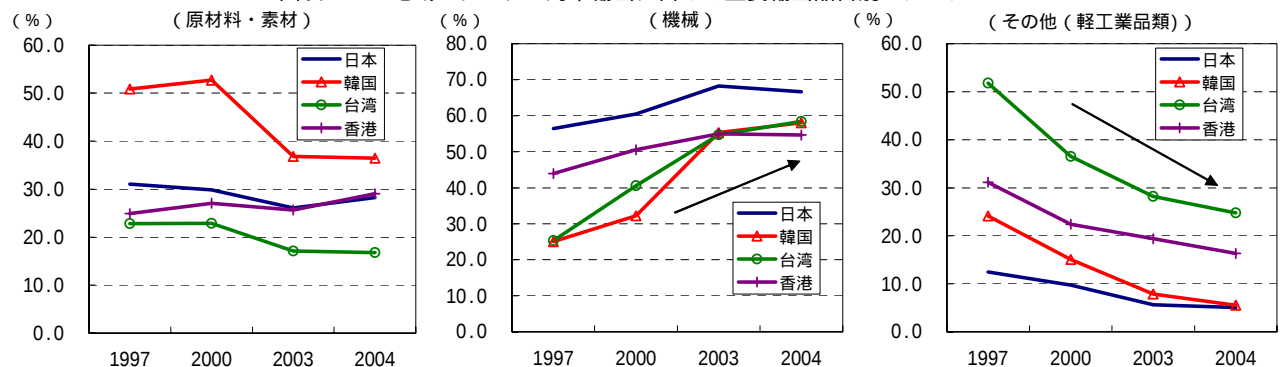
（出所）CEIC

（％） 図表2 4地域の対中輸出を100とした場合の各地域のシェア



（注）2004年は1-3月の実績値。
（出所）CEIC

図表3 4地域それぞれの対中輸出に占める主要輸出品目別のシェア



（注）2004年は1-3月の実績値。
（出所）CEIC

図表4 4地域それぞれの対中機械輸出の内訳（対中輸出総額比）

（億ドル、％）

日本	機械					台湾	機械						
	(億ドル)	(%)	機械a(注)	電気機械	輸送機械		光学機械	(億ドル)	(%)	機械a(注)	電気機械	輸送機械	光学機械
1997	164	56.5	22.9	24.6	2.2	6.7	1997	111	25.4	5.7	13.8	2.4	3.4
2004	564	66.7	23.6	29.0	5.6	8.5	2004	449	58.4	22.3	29.1	1.3	5.8
韓国						香港							
1997	37	25.0	9.1	13.6	1.3	1.0	1997	31	44.0	10.2	27.2	6.6	6.4
2004	319	58.0	11.9	27.9	2.9	15.4	2004	55	54.6	9.6	39.7	0.1	5.3

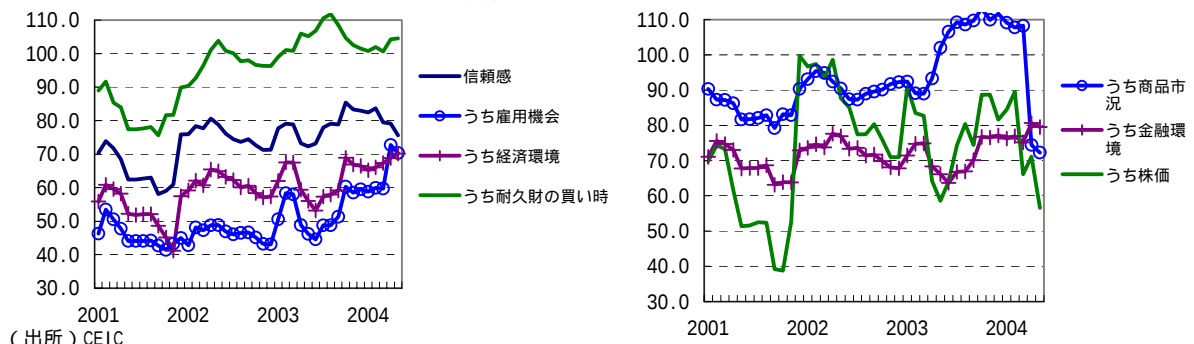
（注）機械aとは、電気機械、輸送機械、光学機械以外の一般機械、特殊機械等。2004年の輸出額は1-3月の実績値を年率化。シェアは1-3月の実績値。

（出所）CEIC

3. 台湾経済の概況

- 中国経済の先行きや中台関係にやや不安感が出てきてはいるものの、外需・内需ともに堅調であり、景気は拡大基調を強めている。
- けん引役の輸出を見ると、5月は前年同月比39.5%増と、極めて好調に見える。昨年5月がSARSの影響などで貿易活動が停滞し、水準が低かった反動もあるが、電子機器、光学機器、化学などが好調である。
- 投資は今年に入って急回復している。5月の資本財輸入が前年同月比66.0%増と大幅に増加しており、昨年の貿易活動の停滞分を割り引いても、投資がかなり活発化していることがうかがえる。6月初旬に台湾証券交易所が発表した2004年1-3月期の上場会社の営業概況によれば、上場企業全体の営業収入は前年同期比26.9%増、税引き後利益は同118.0%増であった。営業収入全体の5～6割を占める電子産業に限ると同214.1%の増益、同じく1割を占めるプラスチックは同83.3%の増益など、主要業種を中心に業績が急回復しており、これが投資意欲を強めていると見られる。
- 消費について、消費者信頼感指数（6カ月先についての見方）を見ると、5月は75.6と2003年6月以来の低い数字となった。同指数6つの構成項目のうち、経済環境と雇用機会、耐久財の買い時に関する指標は改善が続いたが、株価と商品市況についての見方の指標が大きく落ち込んだ。今後株価下落の影響が消費の抑制要因となることが予想されるが、株価水準そのものは昨年同期に比べてかなり高く、消費を失速させることはないと考えられる。

台湾の消費者信頼感とその内訳の動向



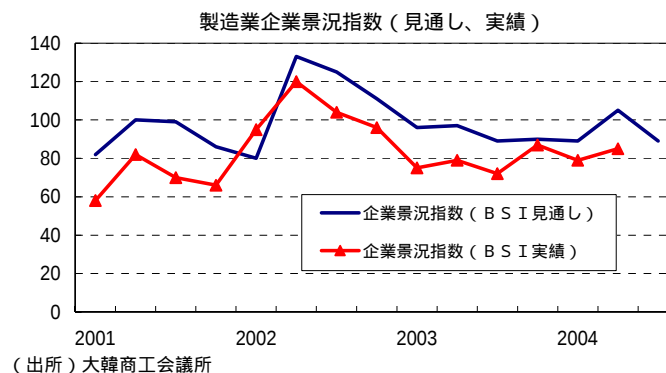
【台湾の主要経済指標】

		2001年	2002年	2003年	03/2Q	3Q	4Q	04/1Q	04/2月	3月	4月	5月
GDP	実質GDP	▲ 2.2	3.6	3.2	▲ 0.1	4.2	5.2	6.3				
	うち民間消費	▲ 1.0	2.0	0.8	▲ 1.8	1.7	2.5	3.1				
	うち総固定資本形成	▲ 20.6	▲ 2.1	▲ 1.6	▲ 10.2	▲ 3.4	6.7	13.8				
	うち民間企業	▲ 29.2	2.5	▲ 0.7	▲ 11.5	▲ 5.1	11.9	21.7				
貿易 及び 対外 関連	貿易収支（億ドル）	156.6	180.7	169.8	40.8	47.5	44.8	19.8	0.7	6.7	9.7	12.0
	輸出伸び率	▲ 17.2	6.3	10.4	3.6	9.6	16.9	22.5	34.6	17.0	22.8	39.5
	輸入伸び率	▲ 23.4	4.9	13.1	5.0	4.8	24.0	31.3	56.4	29.0	25.7	52.5
	経常収支（億ドル）	179.2	256.3	292.0	67.0	68.3	80.2	58.3				
生産	外貨準備高（億ドル）	1,222	1,617	2,066	1,767	1,906	2,066	2,265	2,248	2,265	2,277	2,290
雇用	鉱工業生産	▲ 7.8	7.9	7.2	1.4	7.3	12.6	13.6	29.9	15.5	12.8	
物価 金融	失業率	5.3	5.1	4.7	5.1	4.8	4.7	4.5	4.6	4.5	4.6	4.5
	消費者物価	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.2	0.5	0.6	0.9	0.9	0.9
	マネーサプライ（M2）	4.4	2.6	5.9	2.6	5.3	5.9	8.4	7.3	8.4	8.8	
	株価指数（加権指数）	5,551	4,452	5,891	4,872	5,611	5,891	6,522	6,751	6,522	6,118	5,978
	短期金利（オーバーナイト）	3.64	2.05	1.13	1.22	1.02	1.02	0.99	0.98	0.99	0.97	0.97
	為替レート（NTドル/ドル）	33.8	34.6	34.4	34.8	34.2	34.0	33.4	33.2	33.3	33.0	33.5
	為替レート（円/NTドル）	3.61	3.61	3.36	3.43	3.37	3.20	3.21	3.21	3.26	3.26	3.35

（注）前年<同期>比％、輸出入伸び率は米ドルベース。失業率、マネーサプライ、外貨準備高、株価指数は期末値。その他は期中平均。
円/NTドルレートはNTドル/ドルレートを円/ドルレートから演算した。

4. 韓国経済の概況

- ・ 景気は輸出主導で堅調に推移しているが、製造業の先行き見通しが悪化しているほか、消費関連は従来型小売業態で不振が続いている。
- ・ 大韓商工会議所が製造業を対象に行っている「第3四半期の企業景気展望」によると、2004年第3四半期の企業景況指数（BSI見通し）は89と、第2四半期（105）に比べて大幅に下落した。内訳を見ると、輸出を示す指数は好調を続けたものの、内需を示す指数が88と、前期に比べて15ポイント下落した。政治不安は盧大統領の復帰により緩和しつつあるものの、米中景気の悪化懸念や原油・資材価格の高騰への不安感などにより、先行き期待が後退した模様である。
- ・ また同商工会議所が小売業者を対象に行っている景気調査でも、第3四半期の景況指数が98と第2四半期（116）から大幅に下落した。業態別では、ネット販売やディスカウントストアは比較的好調を維持するが、スーパーマーケットやデパートは落ち込みが大きく、消費の萎縮は従来型の小売業者に強く影響すると予想されている。
- ・ こうした傾向は実体経済を示す景気指標にも現れている。輸出は、5月に前年同月比42.4%増と98年12月以降で最も高い伸びとなった。製品別では無線通信機器、半導体、コンピュータ、自動車部品、地域別では中国向けがほぼ倍増の勢いとなった。
- ・ 一方、デパート売上は前年同月比5.5%減と3月連続減少となった。消費者マインドが悪化している中、例年に比べて気温が低く、夏物販売の出足が低調となったことも響いたようである。



【韓国の主要経済指標】

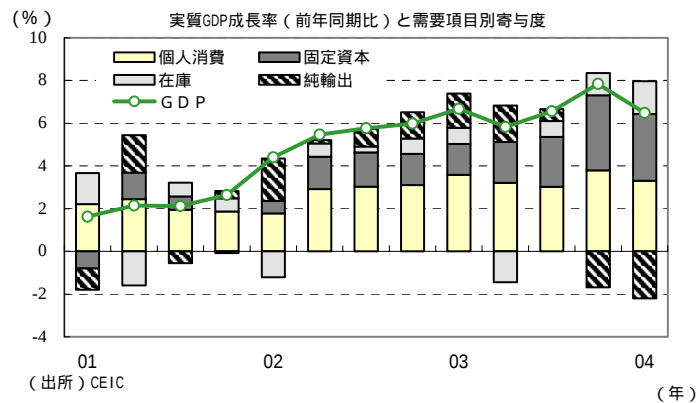
		2001年	2002年	2003年	03/2Q	3Q	4Q	04/1Q	04/2月	3月	4月	5月
GDP	実質GDP	3.8	7.0	3.1	2.2	2.4	3.9	5.3				
	うち民間消費支出	4.9	7.9	▲1.4	▲1.8	▲1.9	▲2.2	▲1.4				
	うち固定資本形成	▲0.2	6.6	3.6	3.7	2.6	3.6	3.6				
	うち設備	▲9.0	7.5	▲1.5	▲0.6	▲5.0	▲2.4	▲1.5				
消費	小売売上高（数量）	7.0	8.2	▲2.0	▲3.4	▲2.1	▲2.0	▲1.8	1.5	▲3.6	▲0.9	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支（億ドル）	93.4	103.4	149.9	43.4	48.6	69.8	66.9	17.5	21.1	27.4	30.1
	輸出伸び率	▲12.7	8.0	19.3	14.4	15.9	25.6	37.8	43.6	37.8	37.0	42.4
	輸入伸び率	▲12.1	7.8	17.6	12.2	10.5	18.1	19.0	25.6	20.2	27.4	32.3
	経常収支（億ドル）	103.2	53.9	123.2	24.3	37.6	76.6	61.5	28.9	9.1	12.0	
生産	外貨準備高（億ドル）	1,028	1,214	1,554	1,317	1,415	1,554	1,636	1,630	1,636	1,636	1,665
	鉱工業生産	0.7	8.1	5.1	3.2	3.2	7.9	11.0	16.9	11.6	11.3	
雇用	失業率（季節調整済み）	3.4	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3	3.4	3.4	3.5
物価	消費者物価	4.1	2.8	3.5	3.3	3.2	3.5	3.2	3.3	3.1	3.3	3.3
金融	マネーサプライ（M2）	8.1	14.0	3.0	6.7	4.8	3.0	2.9	3.0	2.9	4.4	
	株価指数（総合）	694	628	811	670	698	1,198	881	883	881	875	804
	為替レート（ウォン/ドル）	1,296	1,247	1,190	1,204	1,170	1,182	1,168	1,177	1,154	1,168	1,166
	為替レート（円/100ウォン）	9.4	10.0	9.7	9.9	9.9	9.2	9.2	9.3	9.1	9.4	9.4
	C/Dレート（3ヵ月物）	5.32	4.80	4.29	4.43	3.96	4.08	4.09	4.08	3.93	3.91	3.90

（注）前年<同期>比、%。輸出入伸び率は米ドルベース。マネーサプライ、外貨準備高、株価指数は未値。
C/Dレート、為替レートは期中平均。

・ A S E A N 経済・インド経済

1 . タイ経済の概況

- ・ 2004 年 1-3 月期の実質 GDP 成長率は前年同期比 6.5% となり、2003 年 10-12 月期の同 7.8% からやや鈍化した。個人消費の鈍化は、鳥インフルエンザなどによる消費者マインド悪化の影響が出たためと見られる。投資(総固定資本形成)は同 16.2% と前期(同 19.8%) から 3.6% ポイント低下した。企業設備投資は高成長が続いたが、民間建設部門と公共投資の伸び率が鈍化した。
- ・ 4 月の輸出は自動車・部品や電気製品が好調で前年同月比 21.4% 増と高い伸びを維持した。しかし、輸入も同 30.0% 増と大幅に拡大したため、貿易収支は 3 月、4 月と 2 ヶ月連続の赤字となり、4 月の経常収支も 2 年ぶりに赤字となった。
- ・ 中央銀行は、6 月 9 日、景気はやや減速したもののファンダメンタルズは良好であり、また、インフレ圧力も弱いとして、政策金利(14 日物レポ金利)を 1.25% に据え置くことを決定した。



【タイの主要経済指標】

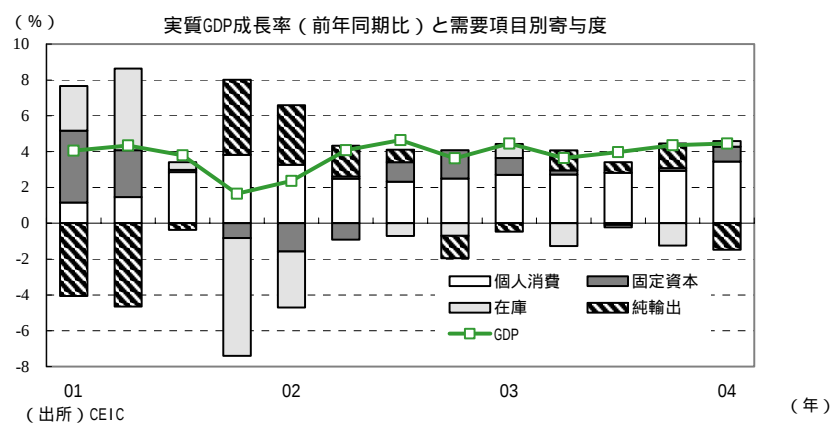
		2001年	2002年	2003年	03/2Q	3Q	4Q	04/1Q	2月	3月	4月	5月
GDP	実質 GDP	2.1	5.4	6.8	5.8	6.6	7.9	6.5				
	民間消費	3.9	4.9	6.3	5.7	5.0	7.1	6.3				
	総固定資本形成	1.2	6.5	11.7	9.1	10.8	19.8	16.2				
消費	総合消費指数	2.6	3.7	5.1	5.6	3.2	4.7	3.4	5.4	4.1	3.5	
投資	民間企業投資指数	0.3	23.5	13.2	10.8	10.6	17.3	18.3	20.5	23.7	16.4	
生産	製造業生産指数	1.3	8.5	12.3	14.0	9.5	11.7	11.4	15.7	7.8	7.6	
雇用	失業率(季調前)	3.3	2.4	1.5	2.5	1.6	1.5	2.4	2.4	2.4	2.8	
輸出入	貿易収支(億ドル)	35.5	45.9	52.2	18.0	10.2	9.9	5.1	5.7	▲ 2.6	▲ 2.4	
	輸出伸び率	▲ 6.4	5.4	16.4	15.8	9.6	19.4	19.2	21.2	20.0	21.4	
	輸入伸び率	▲ 0.6	4.0	16.6	11.6	11.1	25.0	25.8	25.5	34.8	30.0	
国際収支	経常収支(億ドル)	62.4	76.5	79.8	12.0	18.5	24.0	21.6	11.1	2.1	▲ 0.2	
	外貨準備高(億ドル)	330	388	421	393	403	421	430	429	430	427	
物価	消費者物価	1.6	0.7	1.8	1.7	1.9	1.6	1.9	2.2	2.3	2.5	
金融	マネーサプライ(M2)	4.2	2.6	5.0	1.7	5.0	5.0	6.4	6.4	6.4	8.2	
	商銀貸出残高	▲ 5.8	7.5	3.7	3.1	2.9	3.7	4.3	3.8	4.4	4.8	
	不良債権比率(3M基準)	10.5	15.8	12.7	15.7	15.3	12.7	11.9				
	株価指数(SET)	304	356	772	462	579	772	647	716	647	648	641
	為替レート(バーツ/\$)	44.5	43.0	39.7	42.2	41.3	39.7	39.2	39.1	39.4	39.4	40.5
	為替レート(円/バーツ)	2.7	2.9	2.7	2.8	2.9	2.7	2.7	2.7	2.8	2.7	2.8
	短期金利(3M)*	2.90	1.93	1.38	1.75	1.31	1.38	1.38	1.38	1.38	1.31	1.31

(注) 前年<同期>比%、輸出入伸び率は米ドルベース。マネーサプライ、商銀貸出残高、不良債権比率、外貨準備高、短期金利、株価は末値。

為替レートは期中平均値。*短期金利はバーツ銀行提示のインターバンクレート。不良債権比率は2002年12月より分類基準変更。

2. インドネシア経済の概況

- ・インドネシアの2004年1～3月期の実質GDP成長率は前年同期比4.5%と2003年通年の4.1%を上回り、景気回復が続いていることが確認された。インドネシア経済が底堅く推移している最大の要因は、ルピア為替相場安定を背景としたインフレ率・金利の低下と、これを受けた個人消費の堅調持続である。
- ・今年7月には、初の国民直接投票による大統領選挙が実施される。これまでのところ、選挙に伴って政治社会情勢が混乱する兆しは見え、大統領選挙が景気下押しリスクとはならないとの見方が大勢である。大統領選挙立候補者のなかでは、今のところ、現職のメガワティ大統領への支持が伸び悩み、軍出身のユドヨノ候補への支持率が高い。
- ・今後のインドネシア経済の行方を見る上で注目すべき点は、新たに選出される大統領の経済運営が外国投資家の信認を得られるかどうかである。信認を得られない場合、外国からの投資流入が一段と減少し、インドネシア経済の低成長が長期化する懸念がある。



【インドネシアの主要経済指標】

		2001年	2002年	2003年	03/2Q	3Q	4Q	04/1Q	2月	3月	4月	5月
GDP	実質GDP	3.4	3.7	4.1	3.6	4.0	4.4	4.5				
	民間消費支出	4.4	3.8	4.0	3.9	4.2	4.1	5.7				
	総固定資本形成	7.7	0.2	1.4	1.1	▲ 0.4	0.7	4.2				
消費	小売売上	-	5.6	7.0	1.0	9.2	15.1	17.2	16.5	18.0	11.7	
生産	鉱工業生産	▲ 1.1	▲ 7.1		▲ 0.1	3.5	7.5	12.6	11.9	9.3	17.1	
輸出入	貿易収支(億ドル)	253.6	258.7	286.3	76.7	71.7	69.1	61.3	20.1	19.4	20.5	
	輸出伸び率	▲ 9.3	1.5	6.8	4.7	1.4	4.1	▲ 0.9	▲ 1.6	▲ 1.8	2.9	
	(うち除く石油・ガス)	▲ 8.5	3.1	5.2	3.8	1.2	6.9	0.7	1.1	0.2	2.4	
	輸入伸び率	▲ 7.6	1.1	3.5	4.4	▲ 2.5	▲ 7.6	6.0	2.6	11.2	20.4	
国際収支	経常収支(億ドル)	69.0	78.3		26.0							
	外貨準備高(億ドル)	280.2	320.4	362.5	340.6	340.2	362.5	374.2	360.0	374.2	370.8	
物価	消費者物価	11.5	11.9	6.6	7.0	6.1	5.5	4.8	4.6	5.1	5.9	6.5
金融	マネーサプライ(M2)	13.0	4.7	8.1	6.7	6.0	8.1	6.5	6.2	6.6	5.4	
	株価指数(総合)	392	425	692	505	598	692	736	761	736	783	732
	為替レート(円/1ドル)	10,270	9,261	8,571	8,413	8,476	8,499	8,492	8,447	8,587	8,661	9,210
	為替レート(円/100ルピア)	1.18	1.35	1.35	1.41	1.38	1.28	1.26	1.26	1.26	1.24	1.22
	中銀債金利(3ヵ月)	17.63	13.12	8.34	10.18	8.75	8.34	7.33	7.70	7.33	7.25	7.24

(注) 前年<同期>比、%。輸出入伸び率はUSドルベース。マネーサプライ、外貨準備高(ゲルパース)、株価指数、中銀債金利は未値。
為替レートは期中平均。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2001年	2002年	2003年	03/2Q	3Q	4Q	04/1Q	2月	3月	4月	5月
GDP	実質GDP	0.3	4.1	5.3	4.6	5.3	6.6	7.6				
	民間消費	2.4	4.4	6.6	5.0	7.0	8.6	8.4				
	総固定資本形成	▲ 2.8	0.3	2.7	0.4	3.2	3.6	3.5				
生産	鉱工業生産	▲ 4.1	4.2	9.2	8.7	8.5	12.2	14.1	11.0	13.7	14.0	
雇用	失業率	3.7	3.2	3.2	4.0	3.4	3.2					
輸出入	貿易収支(億ドル)	142.5	135.2	197.3	50.1	52.1	48.5	43.2	13.5	14.6	15.7	
	輸出伸び率	▲ 10.4	6.1	8.0	6.0	1.8	16.2	14.2	16.4	17.7	23.2	
	輸入伸び率	▲ 10.2	8.2	1.6	▲ 5.0	▲ 5.7	15.0	23.4	24.4	29.1	32.5	
国際収支	経常収支(億ドル)	72.9	73.3	133.8	34.3	33.7	28.4					
	外貨準備高(億ドル)	308	346	449	371	407	449	513	492	513	534	539
物価	消費者物価	1.4	1.8	1.1	0.9	1.0	1.2	0.9	0.9	1.0	1.0	1.2
金融	マネーサプライ(M2)	2.2	5.8	110.8	8.6	10.3	11.1	12.6	11.0	12.6	12.4	
	貸出残高	3.6	4.2	5.2	3.9	4.7	5.2	6.3	5.5	6.3	6.1	
	不良債権比率(3M基準)	11.5	10.2	8.9	9.5	9.0	8.9	9.0	9.1	9.0	8.8	
	株価指数(総合)	696	648	794	692	733	794	902	879	902	838	811
	為替レート(リギ/\$)	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80
	為替レート(円/リギ)	32.1	32.7	30.4	31.2	30.6	28.7	28.2	28.0	28.6	28.2	29.6
	短期金利(3ヵ月)*	3.27	3.13	2.87	2.98	2.86	2.87	2.85	2.85	2.85	2.85	2.91

(注) 前年<同期>比%、輸出入伸び率は米ドルベース。失業率、マネーサプライ、貸出残高、不良債権比率、外貨準備高、株価、短期金利は末値。
為替レートは期中平均値。*マレーシア中銀発表のインターバンクレート。

【フィリピンの主要経済指標】

		2001年	2002年	2003年	03/2Q	3Q	4Q	04/1Q	2月	3月	4月	5月
GDP	実質GDP	3.0	3.1	4.7	4.2	4.8	5.0	6.4				
	民間消費支出	3.6	4.1	5.3	5.3	5.2	5.5	5.9				
	固定資本形成	▲ 3.7	▲ 8.4	2.9	▲ 0.7	6.1	1.2	4.8				
生産	鉱工業生産(数量)	▲ 5.7	▲ 6.1	0.0	0.9	1.6	▲ 5.1	▲ 4.7	▲ 0.8	▲ 11.0		
輸出入	貿易収支(億ドル)	▲ 9.1	▲ 2.2	▲ 15.6	▲ 8.5	▲ 1.8	▲ 0.2	▲ 5.6	0.1	▲ 2.3		
	輸出伸び率	▲ 15.6	9.5	1.9	▲ 0.5	▲ 2.6	4.8	6.3	7.5	7.1	8.9	
	輸入伸び率	▲ 4.2	7.2	5.7	0.0	▲ 4.0	8.5	6.4	6.3	4.4		
国際収支	経常収支(億ドル)	13.2	42.0	33.5	5.6	10.6	15.0					
	外貨準備高(億ドル)	157.2	161.5	168.1	158.5	160.6	168.1	163.4	157.3	163.4	164.1	164.8
物価	消費者物価	6.1	3.1	3.0	3.0	3.1	3.0	3.4	3.2	3.8	4.1	4.5
金融	マネーサプライ(M2)	6.9	9.6	4.3	6.0	2.9	4.3	4.9	4.4	4.8	6.4	
	株価指数(総合)	1168	1018	1442	1223	1297	1442	1424	1483	1424	1555	1511
	為替レート(ペソ/ドル)	51.0	51.6	54.2	52.8	54.6	55.0	56.2	56.3	56.4	55.9	55.8
	為替レート(円/ペソ)	2.38	2.43	2.14	2.24	2.15	1.97	1.91	1.89	1.93	1.92	2.01
	大蔵省証券金利(3ヵ月)	8.87	5.16	5.97	5.50	5.51	5.97	7.62	6.44	7.62	7.16	7.14

(注) 前年<同期>比、%。輸出入伸び率は米ドルベース。マネーサプライ、外貨準備高、株価指数、大蔵省証券金利は末値。為替レートは期中平均。

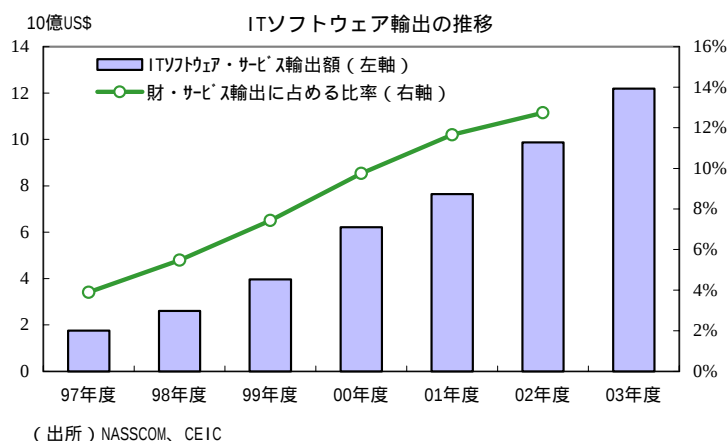
【シンガポールの主要経済指標】

		2001年	2002年	2003年	03/2Q	3Q	4Q	04/1Q	2月	3月	4月	5月
GDP	実質GDP	▲ 1.9	2.2	1.1	▲ 3.9	1.7	4.9	7.5				
	民間消費	3.3	2.4	▲ 0.5	▲ 2.5	▲ 0.7	1.7	6.5				
	総固定資本形成	▲ 4.5	▲ 9.9	▲ 3.8	▲ 9.8	▲ 1.1	2.3	12.1				
消費	小売売上指数	3.6	▲ 2.4	8.5	10.3	11.1	13.2	23.6	45.8	24.0		
生産	鉱工業生産	▲ 11.6	8.4	2.9	▲ 7.1	3.4	9.0	12.1	28.7	1.0	22.2	
雇用	失業率(季調)	4.4	4.3	4.5	4.6	5.5	4.5	4.5				
輸出入	貿易収支(億ドル)	57.6	86.9	162.4	34.0	45.7	44.0	33.4	15.1	8.6	8.8	
	輸出伸び率	▲ 11.7	2.8	15.2	8.8	10.8	19.0	18.6	28.5	24.6	26.7	
	輸入伸び率	▲ 13.8	0.4	9.8	3.1	4.9	16.8	22.8	24.0	27.2	31.6	
国際収支	経常収支(億ドル)	161.4	187.3	281.8	64.2	77.3	69.0	65.3				
	外貨準備高(億ドル)	758	823	963	866	911	963	1027	1011	1027	991	1011
物価	消費者物価	1.0	▲ 0.4	0.5	0.1	0.5	0.7	1.4	1.6	1.3	1.3	
金融	マネーサプライ(M2)	5.9	▲ 0.3	8.1	3.0	4.8	8.1	9.8	10.4	9.9	10.7	
	株価指数(ストリート)	1,624	1,332	1,765	1,448	1,631	1,765	1,859	1,889	1,859	1,842	1,789
	為替レート(S\$/S)	1.792	1.791	1.742	1.748	1.752	1.724	1.695	1.686	1.700	1.684	1.710
	為替レート(円/S\$)	67.9	69.6	66.5	68.0	67.1	63.1	63.2	63.2	63.9	63.8	65.5
	短期金利(3ヵ月)*	1.25	0.81	0.75	0.63	0.81	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75

(注) 前年<同期>比%、輸出入伸び率は米ドルベース。失業率、マネーサプライ、外貨準備高は期末値、為替レートは期中平均。*インターバンクレート 末値。

4. インド経済の概況

- ・4月の鉱工業生産は、オートバイ、乗用車など販売好調な業種の生産拡大を受け、前年同月比9.4%増と高い伸びとなった。
- ・ソフトウェア・サービス企業協会(NASSCOM)の発表によると、2003年度のインドのITソフトウェア輸出は、米国向けを中心に前年度比28%増の122億USドルに達した。因みに、最近では、日本の金融会社等がインドへのソフトウェア発注を増やしている。他方で、国内向けITソフトウェア販売は前年比15%増にとどまった。
- ・マンモハン・シン首相は、5月23日、主要閣僚人事を発表し、財務相には、改革派のチダンバラム氏を任命した。チダンバラム氏は、1991年の経済改革では商業相として通商分野の規制緩和に実績があり、同氏の財務相任命は、改革路線を今後も維持することを示し、内外の企業・投資家に安心感を与えることを狙ったものと見られる。同財務相は、経済改革を継続するとともに、農業、製造業、雇用拡大を重視し経済成長に弾みをつける方針を表明している。また、財政赤字をGDPの5%以内に抑制する方針も示しており、金融市場からの信認を高めることへの意欲を見せている。



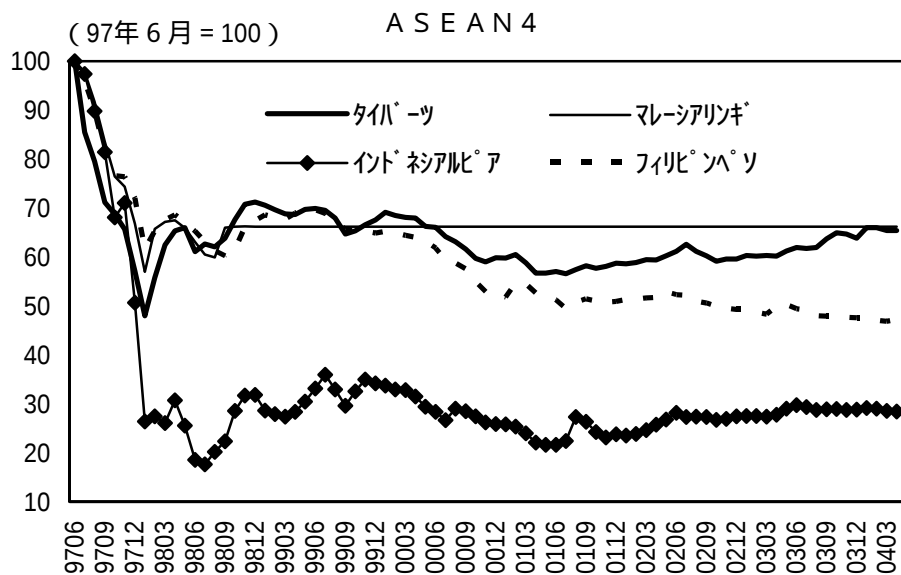
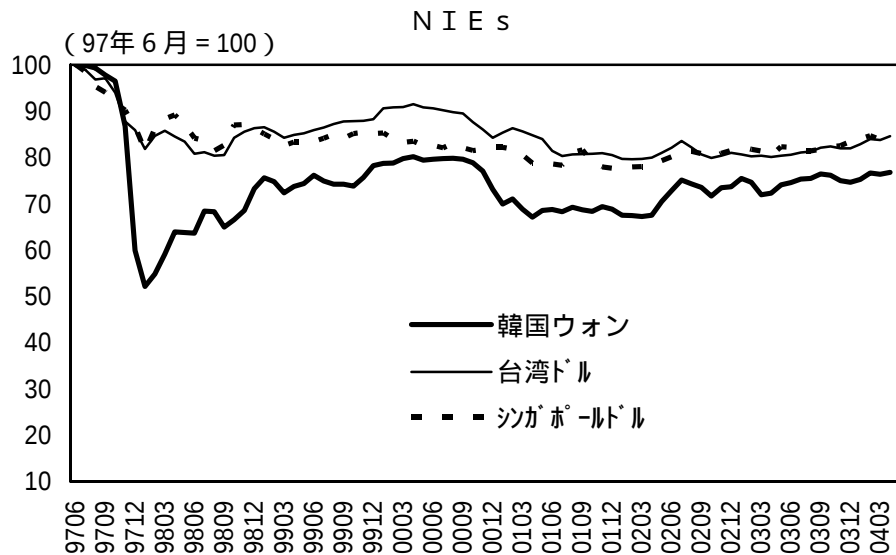
【インドの主要経済指標】

		2001年	2002年	2003年	03/4-6月	03/7-9月	03/10-12月	04/1-3月	2月	3月	4月	5月
GDP	実質GDP(*)	FY 5.7	FY 4.3		5.7	8.4	10.4					
生産	鉱工業生産	2.7	4.9	6.5	5.8	6.6	7.2	7.4	7.9	7.3	9.4	
輸出入	貿易収支(億ドル)	▲ 69.1	▲ 72.1	▲ 149.4	▲ 38.8	▲ 33.2	▲ 56.6	▲ 23.0	▲ 12.2	3.8	▲ 17.4	
	輸出伸び率	2.1	14.0	13.6	11.6	6.5	19.5	28.7	34.9	41.9	20.0	
	輸入伸び率	▲ 2.3	12.7	25.6	25.3	16.6	31.3	26.3	44.5	17.6	20.8	
国際収支	経常収支(億ドル)	▲ 7.9	48.5	44.4	▲ 2.3	16.4	18.2					
	外貨準備高(億ドル)	452.5	669.9	976.2	785.5	872.1	976.2	1074.5	1040.7	1074.5	1130.1	1143.3
物価	卸売物価	4.8	2.5	5.4	6.1	4.5	5.5	5.6	5.9	4.5	4.3	5.0
	消費者物価	3.8	4.3	3.8	4.7	3.4	3.4	4.0	4.1	3.5	2.2	
金融	マネーサプライ(M3)	15.0	16.2	12.7	11.7	12.1	12.7	16.4	14.6	16.4	16.2	
	株価指数(BSE Sensitive)	3,262	3,377	5,839	3,607	4,453	5,839	5,591	5,668	5,591	5,655	4,760
	為替レート(円/1ドル)	47.2	48.6	46.5	47.0	45.9	45.6	44.7	45.3	43.4	47.4	47.4
	為替レート(円/100ルピー)	2.6	2.6	2.3	2.5	2.6	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.5
	短期金利(TB91日物)	7.25	5.47	4.24	4.94	4.57	4.24	4.24	4.41	4.24	4.37	4.41

(注) 前年<同期>比、%。輸出入伸び率はUSドルベース。マネーサプライ、外貨準備高、株価指数、短期金利は未値。
為替レートは期中平均。(*) 実質GDPは財政年度ベース。(4月～翌年3月: '03/1Q = 03年4-6月期)

・アジア通貨・株価動向

アジア通貨の対ドル下落幅
 < 97年6月平均 = 100、月中平均 >



アジア諸国の株価動向（月末終値）

